



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/byobugaura/>

2 月 号

令和4年1月31日

横浜市立屏風浦小学校

校長 海老原 眞



Reflection

副校長 村松 美奈子

暦の上では春も間近となりましたが、まだまだ厳しい寒さは続きそうです。

「普通」「当たり前」「今まで通り」に行われていたことを継続することが難しい日々が続いています。正解のない、不確定な状況の中で、考え、決定していく力の重要性に改めて気づかされた年月であったと思います。経験したことのない事態に対応する「問題解決力」や、しなやかに適応し、最適解を見つける「柔軟性」を、大人も子どもも試されることが多かったように感じています。

「効果的な行動のあとにはしずかな振り返りを行おう。その静かな振り返りからより効果的な行動が生まれる。」

“Follow effective action with quiet reflection. From the quiet reflection will come even more effective action.” - Peter Drucker

多くの人に読まれている「もしドラ」（もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら）の中にある、ピーター・ドラッカーの言葉です。

私たちは日々の出来事をその出来事だけのものとしてとらえています。振り返りを行うことは日常的に起こっていることや毎日の学習に意味づけを行い、深い学びや気づきにつながると考えられています。

学校でも毎日の学習や行事の振り返りをとても大切にしています。1時間ごとの「まとめ」、1日の終わりに行う「帰りの会」、行事の最後には「閉会式」などを行うことを通して、自分自身を見つめ直すようにしています。よりよい屏風浦小学校にしていくために、子どもたちだけでなく、私たち教師も振り返り、考える機会をつくっています。先日行われた学校評価アンケートもその1つです。多くの保護者の皆様からのご回答をありがとうございます。皆様からいただきましたご意見を受け止めながら、子どもたちのために少しでも前進していくことができるよう、努力を続けていきます。結果につきましては、後日お知らせいたします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、余儀なく変化や工夫を迫られる状況が発生するようになって2年が過ぎました。学校生活の中で「今まで通り」にできず、形を変えたり有無の必要性を再検討したりしたことを静かに振り返り、子どもたちの学びにつながる教育活動を行うことができているかどうか、考え続けていきます。その中には「今まで通り」が最適ではないものもあるかもしれません。未来を生きる子どもたちにとって、真に必要な力は何なのか、常に考え、チャレンジし、振り返り、前に進んでいけるようにしていきたいと思えます。今度とも屏風浦小学校の教育活動にご支援、ご協力をよろしく願いいたします。

(校庭の桜の木が枯れているということがわかりました。倒木の危険性があるため、伐採をいたしました。さみしくなります・・・)